

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	水質検査機器整備事業	広島市	19,602,000	12,650,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和３年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	水質検査機器整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		広島市
交付金事業実施場所		安佐北区落合南六丁目
交付金事業の概要	<p>水道水の水質検査は高い正確性と精度が求められます。しかし、平成24年度に購入したガスクロマトグラフ質量分析装置及び高速液体クロマトグラフ分析装置は経年劣化のため動作不良となるおそれがあることから、交付金を活用して当該機器の更新を行います。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】 第6次広島市基本計画 広島市水道ビジョン（広島市基本計画の水道事業における部門計画） 第4章 施策の展開 施策目標Ⅰ 安全でおいしい水の供給 1 水質管理体制の強化 (3) 水質検査体制の強化 国の水質基準の改正などの動きに的確に対応するとともに、計画的な水質検査機器の更新を行い、測定精度の維持・向上に努めます。</p> <p>【目標】 「ジェオスミン」「２－メチルイソボルネオール」「陰イオン界面活性剤」について、当市が水質管理上必要とする濃度において誤差率±15%以内、変動係数15%以下 ※1、※2、※3</p> <p>※1 誤差率とは、測定の正確性を表すものです。真値と測定値の差を真値で割った値であり、真値に対する測定値の誤差の評価に用いられます。 ※2 変動係数とは、測定の精度を表すものです。標準偏差を繰り返し測定の平均値で割った値であり、平均値に対する測定値のばらつきの評価に用いられます。 ※3 国の通知等では、水質基準値の10分の1付近の濃度において、誤差率±20%以内、変動係数20%以下を確保するよう定められており、水質検査において常にこれを維持する必要があります。更新機器の導入時の誤差率、変動係数の目標をそれぞれ±20%以内、20%以下とした場合、将来的な機器の経年劣化による性能低下が原因で、これらをクリアできなくなるおそれがあります。そこで、当市ではより厳しい条件となるよう誤差率及び変動係数を設定しています。</p>	

事業開始年度	令和3年度				事業終了（予定）年度		令和3年度
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度		
	「ジェオスミン」「2－メチルイソボルネオール」「陰イオン界面活性剤」について、当市が水質管理上必要とする濃度において誤差率±15%以内、変動係数15%以下	「ジェオスミン」「2－メチルイソボルネオール」「陰イオン界面活性剤」について、当市が水質管理上必要とする濃度における誤差率、変動係数	成果実績	%	「ジェオスミン」 誤差率：-6.6～6.8、変動係数：0.4～4.1 「2－メチルイソボルネオール」 誤差率：-4.6～10.7、変動係数：1.7 「陰イオン界面活性剤」 誤差率：-7.9～-5.5、変動係数：1.5～4.4		
			目標値	%	誤差率：±15%以内 変動係数：15%以下		
			達成度	%	100		
	評価年度の設定理由						
	機器導入時に成果の評価を行うことができるため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	次年度以降も、更新機器の機種選定を慎重に行い、水質検査における高い正確性と精度の維持・向上に努めます。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	本交付金の活用による水質検査機器の更新台数	活動実績	台	1	2	2	
		活動見込	台	1	2	2	
		達成度	%	100	100	100	

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
総事業費	15,796,000	11,494,793	19,602,000	
交付金充当額	12,467,000	10,449,812	12,650,000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	12,467,000	10,449,812	12,650,000	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
物品購入	一般競争入札 (入札後参加資格確認)	日新精器株式会社 (広島市)	15,950,000	
物品購入	一般競争入札 (入札後参加資格確認)	広島和光株式会社広島営業所 (広島市)	3,652,000	
交付金事業の担当課室	水道局技術部水質管理課			
交付金事業の評価課室	水道局技術部水質管理課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間 接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	八幡原農道ほか 1路線舗装工事	広島市	10,616,100	3,069,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	八幡原農道ほか1路線舗装工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		広島市	
交付金事業実施場所		広島市佐伯区湯来町大字白砂	
交付金事業の概要		<p>湯来町は、総合的に農業の振興を図るべき地域として農業振興地域に指定されています。自然的・経済的・社会的諸条件を考慮して、総合的に農業の振興を図るために、高齢化が進む農家の労力の負担軽減は緊急の課題となっています。</p> <p>今年度は、八幡原農道ほか1路線において舗装工事（施工延長 L=573m、道路土工、舗装工）を実施します。農道を舗装することにより、除草回数の軽減や大型の農業機械の導入など農家の労力の負担が大きく軽減されるほか、当該交付金事業を活用していることをPRすることで、発電用施設の設置及び運転の円滑化への地域の理解を深めることが期待できます。</p>	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第6次広島市基本計画（令和2年度～令和12年度） 第2部まちづくりの展開 第2章活力の創出と都市の個性の確立を目指したまちづくり 第3項農林水産業の振興 1 農業の振興(2) 都市部や中山間地域などの地域特性や環境変化に応じた生産基盤の整備や新技術の導入により、農業の効率的かつ安定的な経営環境の整備に取り組むとともに、生産緑地制度の活用等による都市農地の保全、耕作放棄地の再生利用や担い手の農地集積等による農地の有効活用を進める。				
事業開始年度	令和3年度		事業終了（予定）年度		令和3年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和3年度
	白砂地区の耕作者の満足度 70%	満足度：「満足している」と回答した人数÷アンケート回答者数	成果実績	%	100
			目標値	%	70
			達成度	%	142.9%
	評価年度の設定理由				
	毎年度の事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	今回の工事により、未舗装であった農道をアスファルト舗装にしたことで、路面の窪みやぬかるみ等、通行への支障が解消し、農道を利用する地域住民の安全性や快適性の確保につながりました。また、雑草の生育範囲が減少し、除草回数の軽減が見込まれることにより、高齢化が進む農家の負担軽減に資することができました。 工事完了後に、舗装工事の満足度について検証するため、白砂地区に住んでいる住民や耕作者を対象に聞き取り調査をした結果、回答者全員が「満足している」と回答し、目標を達成しました。 また、聞き取り調査に合わせて、当該事業の概要について説明を行い、今回の舗装工事に交付金事業を活用していることをPRし、当該事業が地域のために役立っていることを住民にも実感してもらえたと考えています。				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	なし				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	年度	年度
	農道舗装工事 施工延長L=573m	活動実績	m	573.0		
		活動見込	m	573.0		
		達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等	令和3年度	年度	年度	備 考		
総事業費	10,616,100					
交付金充当額	3,069,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	3,069,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額		
農道の舗装工事	一般競争入札（入札後資格確認）	佐古建設株式会社（広島市）		10,616,100		
交付金事業の担当課室	広島市経済観光局農林水産部農林整備課					
交付金事業の評価課室	広島市経済観光局農林水産部農林整備課					